

ひとがたはら 人型でのお祓い



■ 節分の人型大祓を受けましょう ■

より幸せに暮らせるように、人型大祓を受けてみませんか



人型の用紙



型代の用紙

※：人型：※

- 一人につき一枚の「人型」用紙を準備します。
- 住所、氏名、年齢をわかりやすくはっきりと記入します。名前にふりがなをつけるとよいでしょう。
- 書き終わってから、用紙に息を吹きかけたり、自分の体をなでると、より気持ちがかもります。
- 親戚や知人に代わってお書きいただいてもかまいません。その場合、その方のためによく祈念しながらお書きください。

※：型代：※

- 家屋、土地、職場、自動車、バイクなどは、「型代」用紙に記入します。

※ 人型大祓は一般の方でも受けられます。大本ホームページからの申し込みも可能です。

■ 『祓いの証』を付けましょう ■



型代の「祓いの証」は、家の柱や自動車の中などにお掛けください

人型の「祓いの証」は、財布や免許証ケースの中などに入れて、お持ち歩きください

掃除をしないと、部屋にはほこりがたまります。実は同じように、私たちの心の中にも知らず知らずの間に「ほこり」がたまっていきます。では、心の中の「ほこり」とは何でしょう。日常を振り返ってみると、不満を抱いたり、気づかないうちに周りに迷惑をかけていた…なんてことはありませんか？ こうしてできた心の「ほこり」は、大きな災いの元になりかねません。さて、あなたならどうしますか？



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>
※「大本いろは」は大本ホームページ（信徒専用ページ）から、カラーでダウンロードできます



<連絡先>



■ 節分大祭はこのように行われます ■



■ 長生殿 ■
大本の発祥地である京都府綾部市にあります。日本の伝統建築の粋をこらして建てられた美しい神殿です。ここで夜を徹して祭典が行われます。



■ 大潔斎神事 ■
二人の舞姫が鈴と麻（ぬさ）を打ち振り、宇宙全体を祓う「潔斎の舞」を舞います



■ 人型流し ■
祝詞が奏上される中、祭員によって人型は清流に流され、清められます



■ 瀬織津姫行事 ■
壺に収められた人型と型代は、綾部市内をめぐり、和知川へ運ばれます



■ 小潔斎神事 ■
人型と型代を、一枚一枚丁寧に祈願して、壺（つぼ）に収めます

わわわを祓い清める



厄年に、「厄払い」を受ける人は多いでしょう。

そもそも「厄」とは、災い・災難のことをいいます。厄年は男女それぞれの年齢の節目にあたり、災難を受けやすい年ともいわれています。また、いろいろな社会的「役」が当たり、忙しくなって無理をしてしまう年回りという説もあります。こうしたことから、日本には、厄年に祓いを受ける風習があります。



しかし、ちょっとした災いは、毎日の暮らしの中でも起きています。それがたまっていくと、大きな災いにつながりかねません。

一年の節目に祓いを受ける



日本では昔から、一年の節目に、人をかたどった「人形」に災いを移したり、「茅の輪くぐり」をして、その年の災いを祓う風習がありました。

大本では、節分の夜に京都府綾部市にある長生殿で、世の中の平安を祈願し、祓い清める「節分大祭」を行います。この祭典の中で、私たちが平穏で幸せに暮らせるようお願い、「人型」を通して罪、けがれを祓い清めます。

ちなみに、立春が旧暦の正月で、節分はその前夜の大みそかにあたり、一年を締めくくる日に、その年の罪やけがれを祓うこととなります。「夏越の祓い」として、6月30日にお祓いの行事を行う神社もあります。



お祓いを受けて
守っていただきました



■ 大事故で奇跡的に助かった ■

事故は、中学生の息子が塾から自転車で帰宅する途中の横断歩道で起きました。その日、小雨が降っていたため、急いで帰ろうと信号を見誤り、横断歩道を渡るうとしたところへ、左から来た自動車に巻き込まれて、二十歳ほど引かずらけてしまいました。

下半身は車の下へ巻き込まれましたが、上半身は奇跡的にバンパーにつかまり、背負っていたリュックサックのおかげで頭と背中が保護され、頭を打つこともなく、かすり傷程度ですみました。

自転車の形もないほどの状態でした。

ちょうど帰宅ラッシュ時で、大勢の人が目撃していましたが、よく命が助かったと思われるほどでした。

わが家では、毎年、大本の人型大祓を受けています。絶対に大本の人型さんのおかげをいただいたと思っています。

■ 東日本大震災での
津波被害を免れて ■

岩手県の大槌川の川沿いで暮らしています。自宅は海からも近く、東日本大震災の時は、津波が川をさかのぼって家にまで押し寄せてきました。庭に停めていた車は水をかぶってしまいましたが、津波は玄関を入ったところで止まり、大きな被害には及びませんでした。そして、私の家を境に、奥の住宅は流されずに済みました。

玄関には人型の「祓の証（次頁参照）」をかけていました。お守りのおかげで家は玄関だけで済みました。他の方に比べたら被害も少なく、神さまに守っていただいたと感謝しています。



大本の節分大祭では、夜を徹して三つの「潔斎神事」が行われます。

● 大潔斎神事：

言霊と八雲琴の調べにあわせて舞姫が舞い、宇宙全体を祓い清める

● 中潔斎神事：

世界各国の国名を記した「型代」を通して平安を祈り、国土を清める

● 小潔斎神事：

人や個人が所有するものを「人型」と「型代」を通して祈願し、個人や家族を清める